

3%引き上げ効果検証 介護報酬、調査委初会合

2009年4月21日 提供：共同通信社

4月に実施された介護報酬の3%引き上げが、職員の賃金増など待遇改善に反映されたかを検証するために、社会保障審議会に設けられた調査実施委員会（座長・田中滋（たなか・しげる）慶応大教授）の初会合が20日開かれ、厚生労働省が調査項目の案を示した。

委員会は、介護報酬の増収分を経営者が赤字補てんに使い、職員の待遇改善につながらないなどの懸念があることから設置された。

厚労省案では、職員数の多い特別養護老人ホームや訪問介護事業所などと、勤務している介護、看護職員を対象に、賃金や手当、福利厚生や研修の状況などを調査する。

4月に提供された介護サービスの報酬は6月末に支払われるため、9月末の状況を10月に調査し、前年と比較する予定。分析結果は来年2-3月に委員会に報告する。

政府が今月発表した追加経済対策に一人当たり月1万5000円程度の賃上げに相当する交付金を10月から支給することが盛り込まれたが、交付金の影響に関する調査は来年度行う。

m3.com より